

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月18日

計画の名称	富士川町における循環のみちの実現（防災・安全）（重点計画）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	富士川町											
計画の目標	下水道整備を行い、安心、安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境創造する。 生活環境の改善と公共用水域の水質保全。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	100	A	100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	重要な管路施設の耐震化率を7% (R2年度当初) から15% (R6年度末) に増加させる。 重要な管路施設の耐震化率 重要な管路施設のうち、耐震対策が行われている延長(km) / 重要な管路施設の延長(km)	7%	11%	15%
2	下水道による都市浸水対策整備率を5.59% (令和4年度当初) から6.09% (令和7年度末) に増加させる。 下水道による都市浸水対策整備率 浸水対策完了済み面積(ha) / 浸水対策を実施すべき面積(ha)	5%	5%	6%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富士川町社会資本総合整備計画事後評価会議	令和7年11月
	公表の方法
	富士川町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道管路施設において、重要な管路施設の耐震化率が7%から15%に増加し、耐震対策が進められた。</li> <li>・都市浸水対策達成率は、5.59%から6.0%となり、利根川排水区の浸水対策は完了した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>汚水対策では、下水道管路施設耐震化計画及び令和6年3月に策定した上下水道耐震化計画に基づき、下水道施設（避難所や緊急輸送路）の機能確保に努める。          浸水対策では、近年の集中豪雨による浸水被害の防止に向け、次期整備計画に基づき、浸水被害の防止を図りたい。</p>	

